

情報公開文書

| | |
|-------------------------------------|---|
| 研究の名称 | 富山大学附属病院における硝子体手術の合併症についての検討 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 (所属・氏名) | 富山大学学術研究部医学系 眼科学 教授 林篤志 |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】 富山大学附属病院で 2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までに硝子体手術を受けたすべての患者様</p> <p>【研究の目的・意義】 当院では年間 500 例を超える硝子体手術を行っています。近年硝子体手術は目覚ましい進歩があり、眼内へアプローチする創口がより小さくなり、小切開で手術が可能となっており、手術の合併症のリスクはより低くなってきていると考えられています。当院では全例 25 ゲージ硝子体手術システムを用いて手術を行っています。実際に当院での硝子体手術の合併症について体系立てて調べることで、当院における合併症の傾向を把握することが可能です。今後さらに安全な手術を行っていく上で有意義であると考えするため本調査を行います。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向きにカルテベースで性別、年齢、疾患、術式、執刀医、手術時間、術前の眼圧、術後翌日の眼圧、術後当院受診時の眼圧、術後 1 か月以内の合併症をカルテ情報及び眼科外来に設置されている検査機械に保存されている検査結果を取得し、検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2024 年 11 月 30 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および論文掲載を予定しています。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無) | 年齢、性別、眼科原疾患、術式、執刀医、手術時間、眼軸長、術前の眼圧、術後翌日の眼圧、術後当院外来受診時の眼圧、術後 1 か月以内の合併症について検討します。他機関への情報提供はいたしません。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 富山大学附属病院 病院長 林篤志 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名) | 富山大学附属病院 眼科 教授 林篤志 |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外(試料・情報の利用)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 |

| | |
|--|---|
| | 富山大学附属病院代 電話 076-434-2315 眼科外来（内線 3710）または 電話 076-434-7363 E-mail ahayashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 眼科 林篤志 |
|--|---|